



左に載せているのは、私がつくった漢字カードです。全部で300枚、幼児が日常話す言葉の中から、最も頻度の高いものを選んであります。

これを75枚ずつA、B、C、Dの4つのブロックに分けてありますが、AからCまでは名詞で、Dは形容詞・動詞になっています。他

に無地のカードが二四枚ありますので、必要に応じて適時言葉を書き込むこともできます。

一日一字ずつ一週間反復学習する使い方のほかに、このような遊び方をして楽しむこともできます。無理じいせず、遊びながら学ばせることができるでしょう。

(1)かるた取り……何枚か読めるようになったら、そのカードを並べて親が読んでやり、子どもに取らせましょう。

(2)仲間集め……動物、植物、乗り物など同類のカードを選び、関係のないカードも混ぜながら並べ、「この中から、動物(植物、乗り物)はどれでしょう」と言って子どもに取らせます。

また逆に「この中の仲間はずれはどれでしょう」と質問して、関連のないカードを選ばせることもできます。

(3)反対語ゲーム……Dのカードを使って、長い 短い、重い 軽い、暑い 寒い、笑う 泣くなど反対語のカードを選び、バラバラにして「対」になるように拾わせて見たり、親が何枚かのカードを持ち、たとえば「高い」のカードを見せると、子どもが「低い」を捜し出すような遊び方もできます。